

「第4回 食品産業もったいない大賞」



応募名称

ペットボトル商品への再生耐熱 PET 樹脂 100% 導入による、「完全循環型リサイクル」の実現

会社名、事業場名

味の素ゼネラルフーズ株式会社

東京都渋谷区 / <http://www.agf.co.jp/company/news/2016-01-22-730.html>

■ 具体的な取組内容 ■

当社は、2016 年春より、主力ボトルコーヒー全商品に、資源循環型の再生耐熱 PET 樹脂を100%使用したペットボトルを導入しました。この100%化は全世界の飲料メーカーの中でも唯一当社だけが行う取り組みです。

■ 開発の背景 ■

当社は、2012 年春より、ボトルコーヒーに使用するペットボトルに、ペットボトルからペットボトルに再生して使用する資源循環型リサイクル技術の導入を開始しましたが、主力ボトルコーヒーはホット充填で製造されるため、耐熱タイプの PET 樹脂を使用する必要がありました。

しかしながら導入当初は、再生 PET 樹脂には非耐熱タイプのものしか存在せず、耐熱性を確保するため、耐熱タイプの石油から新たに作った PET 樹脂も併用せざるをえないことから、耐熱タイプのペットボトルの再生 PET 樹脂の使用率は 50%にとどまっていた（非耐熱タイプについては、2012 年より再生 PET 樹脂の使用率 100%を実現しています）。

■ 今回の開発 ■

2016 年、世界唯一の革新的なペットボトルのケミカルリサイクル技術^(※注)によって、耐熱タイプの再生 PET 樹脂が開発されたため、当社はいち早くこれを取り入れ、〈ブレンディ〉ボトルコーヒーシリーズを代表とする、AGF 製造の耐熱ペットボトル使用の全商品に再生耐熱 PET 樹脂を 100%使用することにより、主力ボトルコーヒー全商品の「完全循環型リサイクル」を実現することが出来ました。また今回の 100%化に伴い、原料として年間約 2,000t 相当（概算）の石油資源使用量を削減することが可能となりました。

2012年

ペットボトルからペットボトルを再生する「ケミカルリサイクル技術」を導入

50%
リサイクル

2016年

主力ペットボトル全商品に、同技術の導入が完了し、「完全循環型リサイクル」を実現

100%
リサイクル
達成！

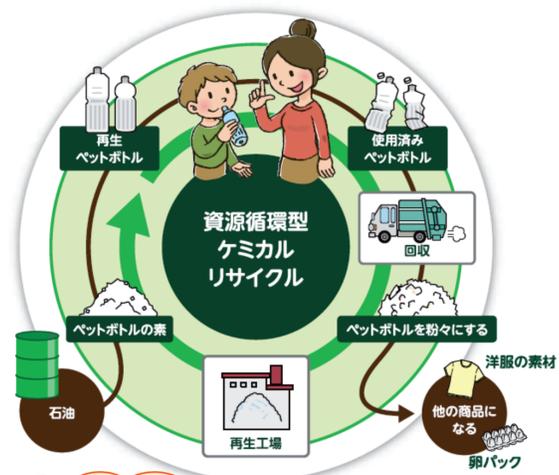
※900mlペットボトル商品の場合



〈ブレンディ〉ボトルコーヒーシリーズ



従来のペットボトルと再生ペットボトルのサイクルの違い



原料として
年間 約2,000t の
石油資源を削減！
(AGF調べ)

従来のペットボトルのサイクル →
再生ペットボトルのサイクル →

(※注) ペットボトルのケミカルリサイクル技術

使用済みペットボトルを化学的に分解して原料に戻し、再び PET 樹脂として利用することで、石油由来原料から作られた新品のペットボトルと同等の品質へ再生することが可能な技術です。

この技術は、世界唯一の技術、東洋製罐株式会社のグループ会社であるペトリファインテクノロジー株式会社の PRT 方式（アイエス法）によるもので、内閣府食品安全委員会での食品容器への使用が承認されています。

■ 評価 ■

継続的な容器包装リサイクル実現への考えのもと、最新の技術を導入してホット充填が必要な耐熱タイプを含めて、主力ボトルコーヒー全商品の完全循環型リサイクルを実現し、大幅な石油資源使用量を削減した点が評価できる。この取組が、他企業へも波及し、消費者のペットボトルリサイクル回収への理解がなお一層高まり、石油消費量節減と共に CO₂ 削減に大きく寄与することを期待したい。